

令和4年度 決算概要について



目 次



■ 会計別決算総括表	3	■ 投資的経費・維持補修費の推移	9
■ 一般会計歳入決算の状況	4	■ 将来負担額の推移	10
■ 市税の状況	5	■ 基金残高の推移（一般会計）	11
■ 一般会計歳出決算の状況（性質別）	6	■ 主要財政指標の状況	12
■ 一般会計歳出決算の状況（目的別）	7	■ 新型コロナウイルス感染症対策および 物価高騰対策などの概要	14
■ 社会保障費の推移	8	■ かみす家の家計簿	15

令和4年度 会計別決算総括表

一般会計及び特別会計

(単位：百万円)

会 計 名		予算額	決算額		
			歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一 般 会 計		52,319	51,785	48,413	3,372
	国民健康保険	9,691	9,370	9,308	62
	介護保険	5,983	5,874	5,577	297
	後期高齢者医療	990	980	976	4
特 別 会 計 小 計		16,664	16,224	15,861	363
合 計		68,983	68,009	64,274	3,735

水道事業会計

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額
収 入	3,852	3,926
支 出	4,610	4,365

※収入額が支出額に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

下水道事業会計

(単位：百万円)

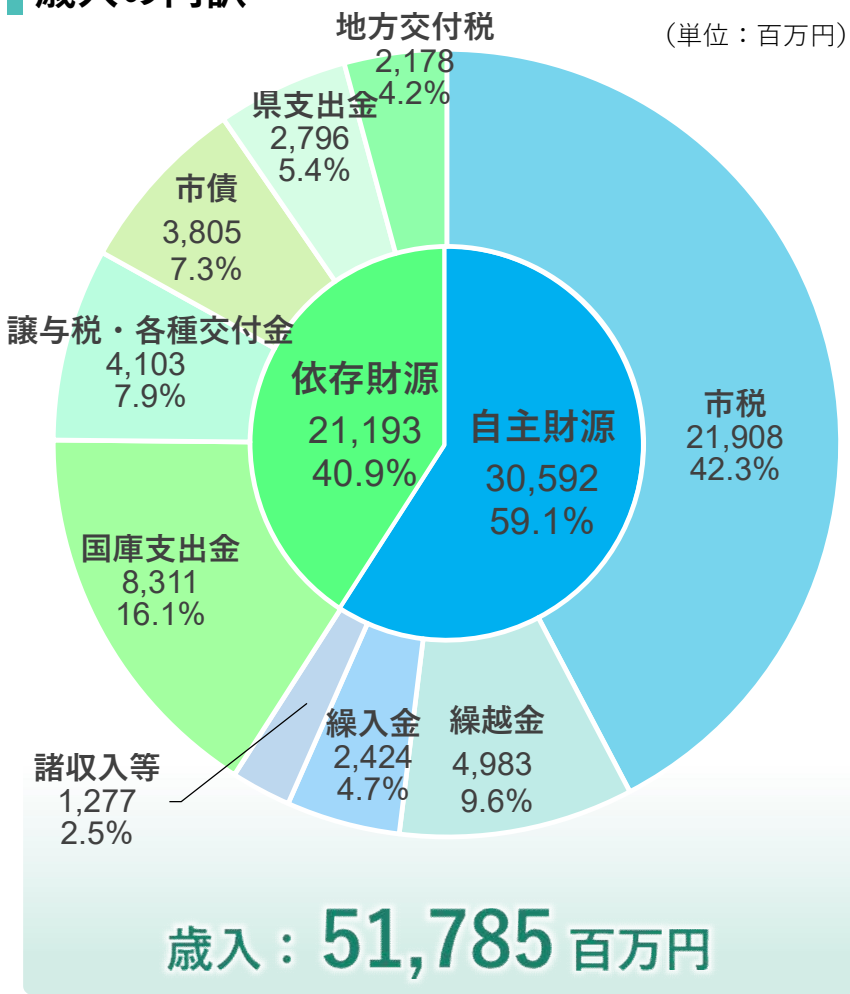
区分	予算額	決算額
収 入	4,065	3,579
支 出	4,288	3,699

※収入額が支出額に不足する額は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

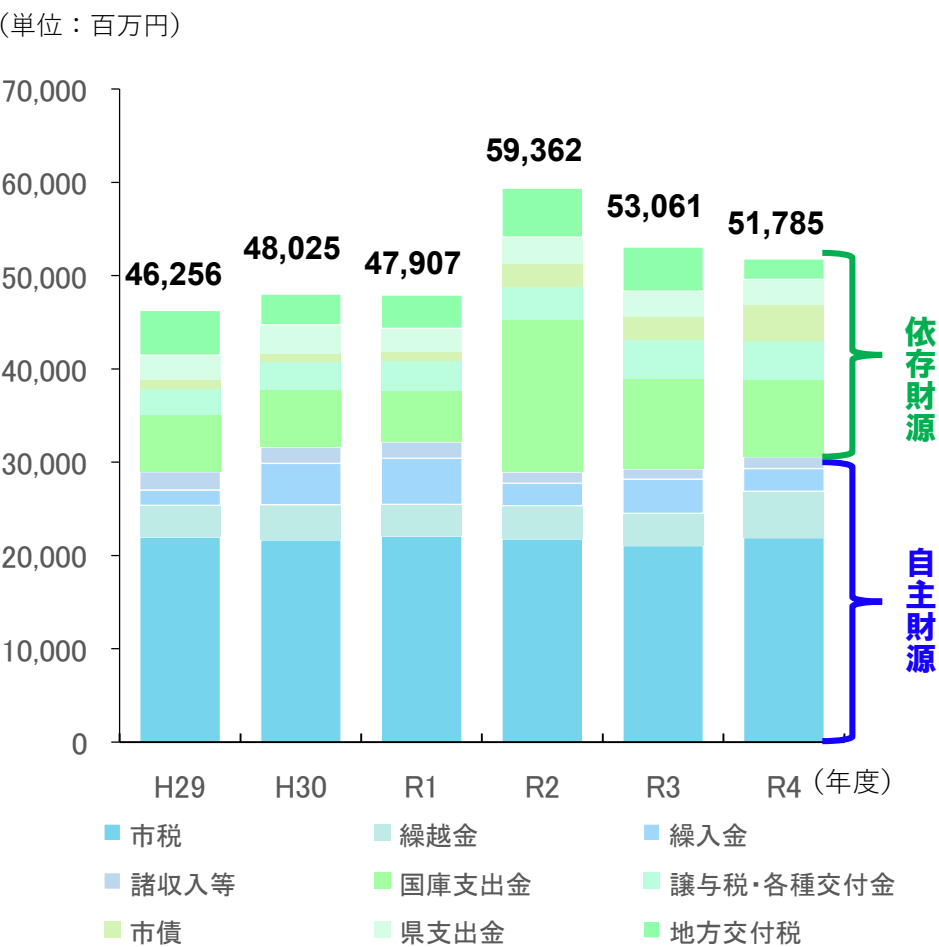
令和4年度一般会計歳入決算の状況

■ 繰越金が、前年度比約15億3百万円、43.2%の増となったものの、地方交付税が、震災復興特別交付税の減などにより、約25億6千4百万円、54.1%の減となったため、歳入全体で約12億7千6百万円、2.4%の減となりました。

歳入の内訳



歳入の推移

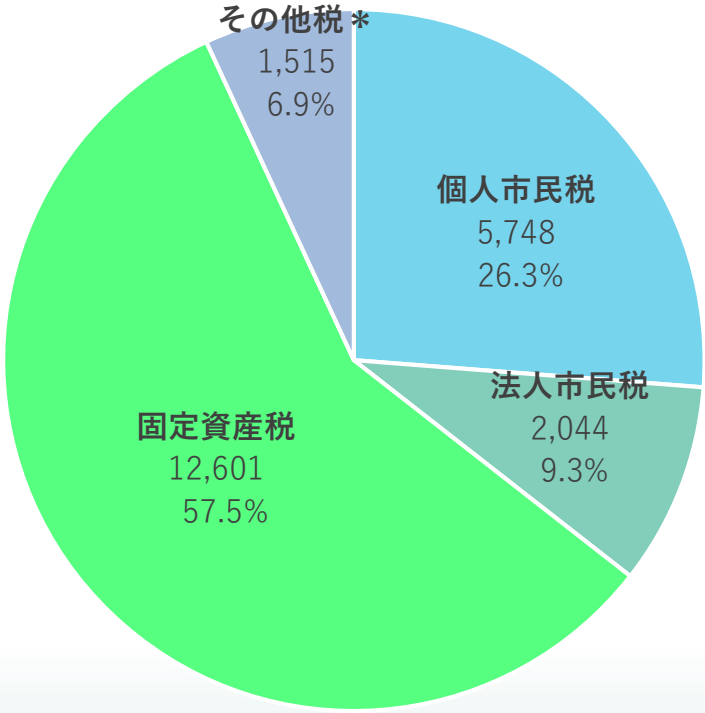


令和 4 年度 市税の状況

- 市税では、法人市民税が社会経済活動の正常化による業績の回復等により、固定資産税が復興産業集積区域における課税免除の減少等により増額となるなど、**市税全体で前年度比約 8 億 6 千 9 百万円、4.1 %の増**となりました。

市税の内訳

(単位：百万円)

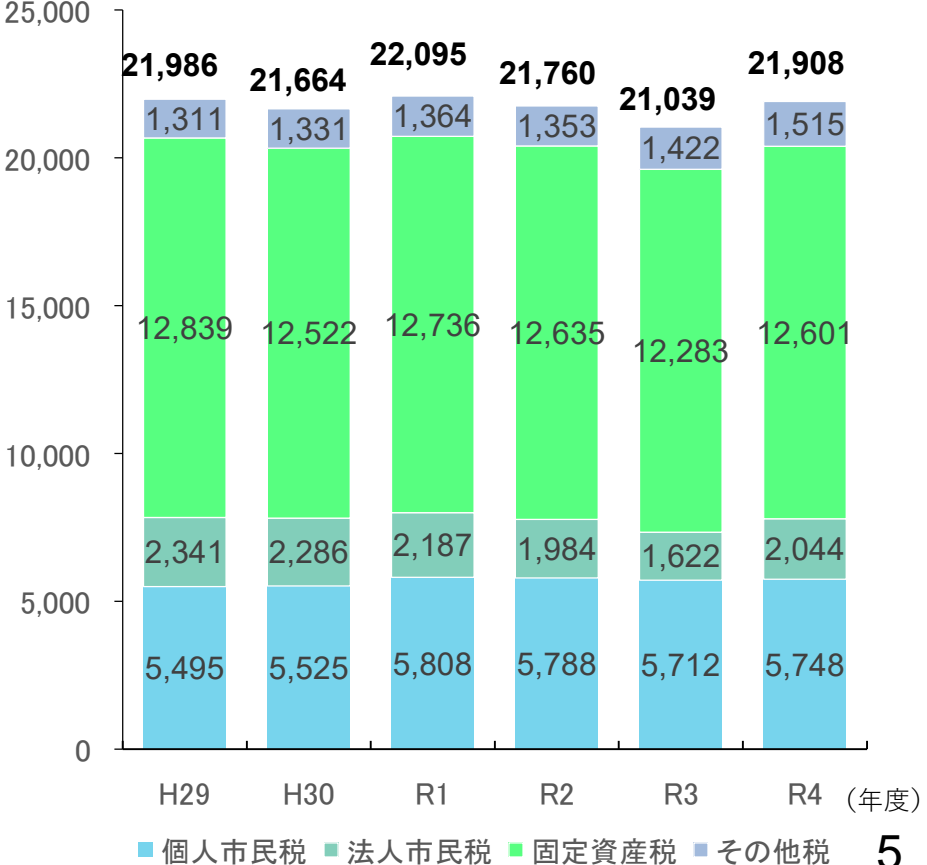


市税：21,908 百万円

* その他税：市たばこ税や軽自動車税等

主な税目毎の推移

(単位：百万円)

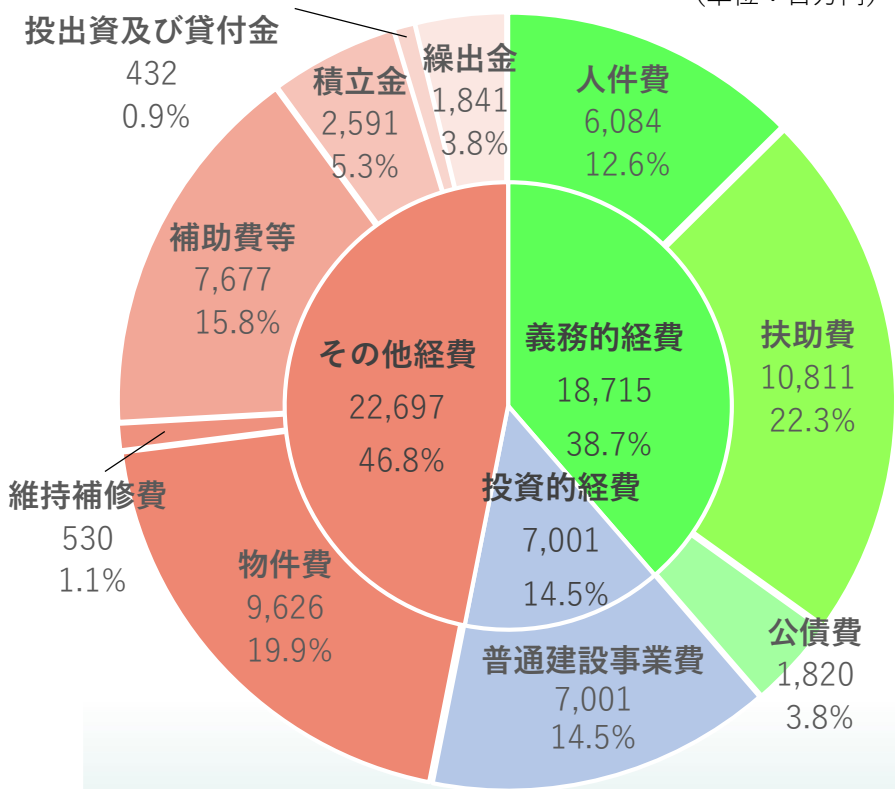


令和4年度一般会計歳出決算の状況（性質別）

- **扶助費**は、子育て世帯及び住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金などの減により、**前年度比約14億4千4百万円、11.8%の減**となりました。
- **普通建設事業費**は、地域交流・保健福祉機能拠点整備事業や屋内温水プール建設工事などの増により、**前年度比約13億5千1百万円、23.9%の増**となりました。
- **補助費等**は、鹿島地方事務組合分担金（環境事業分）などの減により、**前年度比約9億3千万円、10.8%の減**となりました。

歳出内訳（性質別）

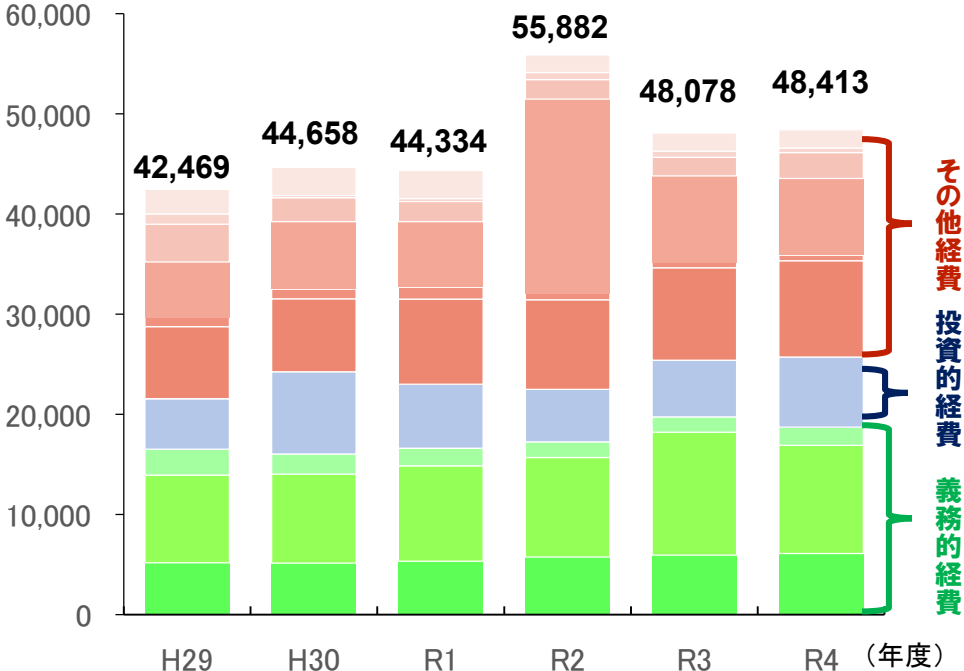
（単位：百万円）



歳出：48,413 百万円

歳出推移（性質別）

（単位：百万円）



- 人件費
- 普通建設事業費
- 維持補修費
- 投出資及び貸付金
- 扶助費
- 災害復旧事業費
- 補助費等
- 繰出金
- 公債費
- 物件費
- 積立金

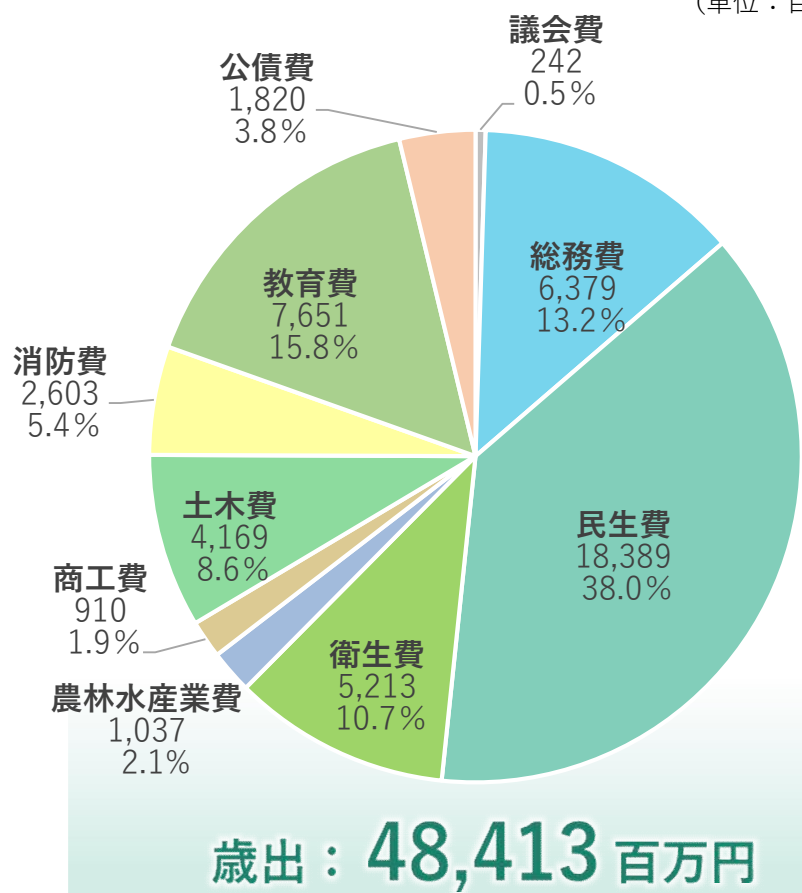
その他経費
投資的経費
義務的経費

令和4年度一般会計歳出決算の状況（目的別）

- **総務費**は、財政調整基金積立金などの増により、**前年度比約7億7千万円、13.7%の増**となりました。
- **衛生費**は、鹿島地方事務組合分担金（環境事業分）などの減により、**前年度比約15億7千4百万円、23.2%の減**となりました。
- **教育費**は、屋内温水プール建設工事や神栖第三中学校体育館外壁改修工事などの施設大規模改修工事費の増により、**前年度比約10億3千9百万円、15.7%の増**となりました。

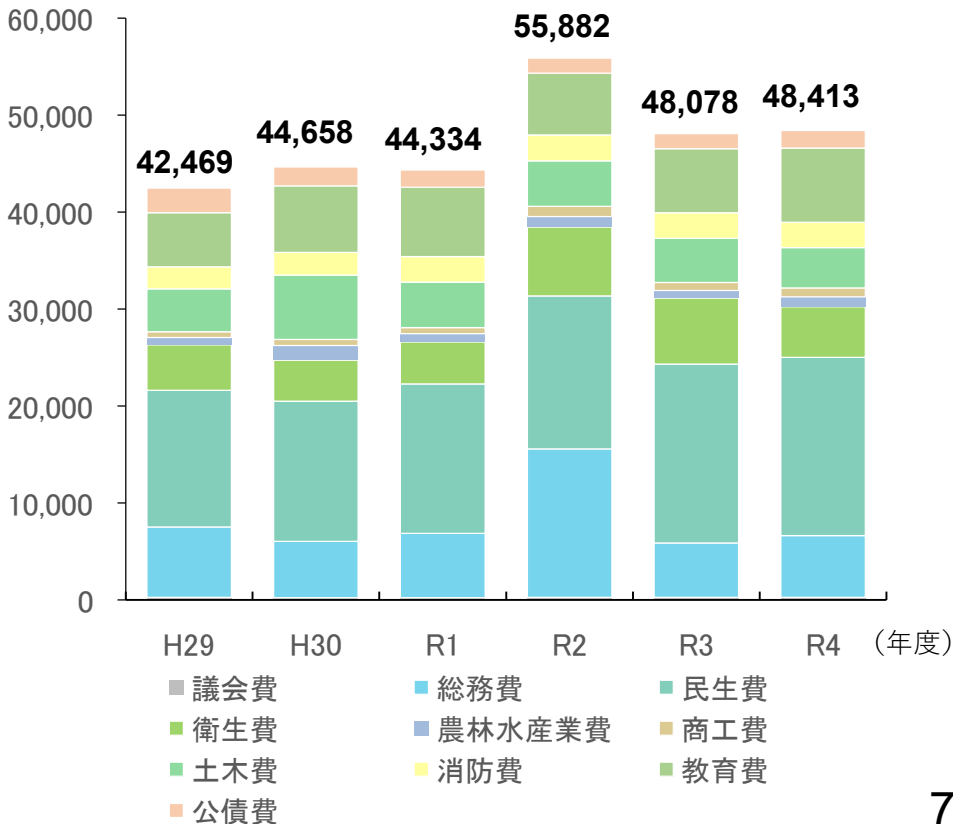
歳出内訳（目的別）

（単位：百万円）



歳出推移（目的別）

（単位：百万円）

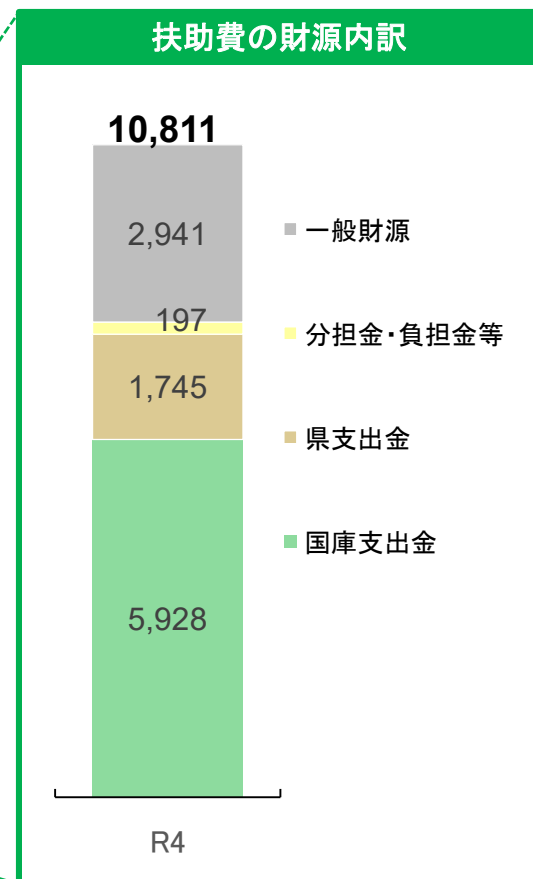
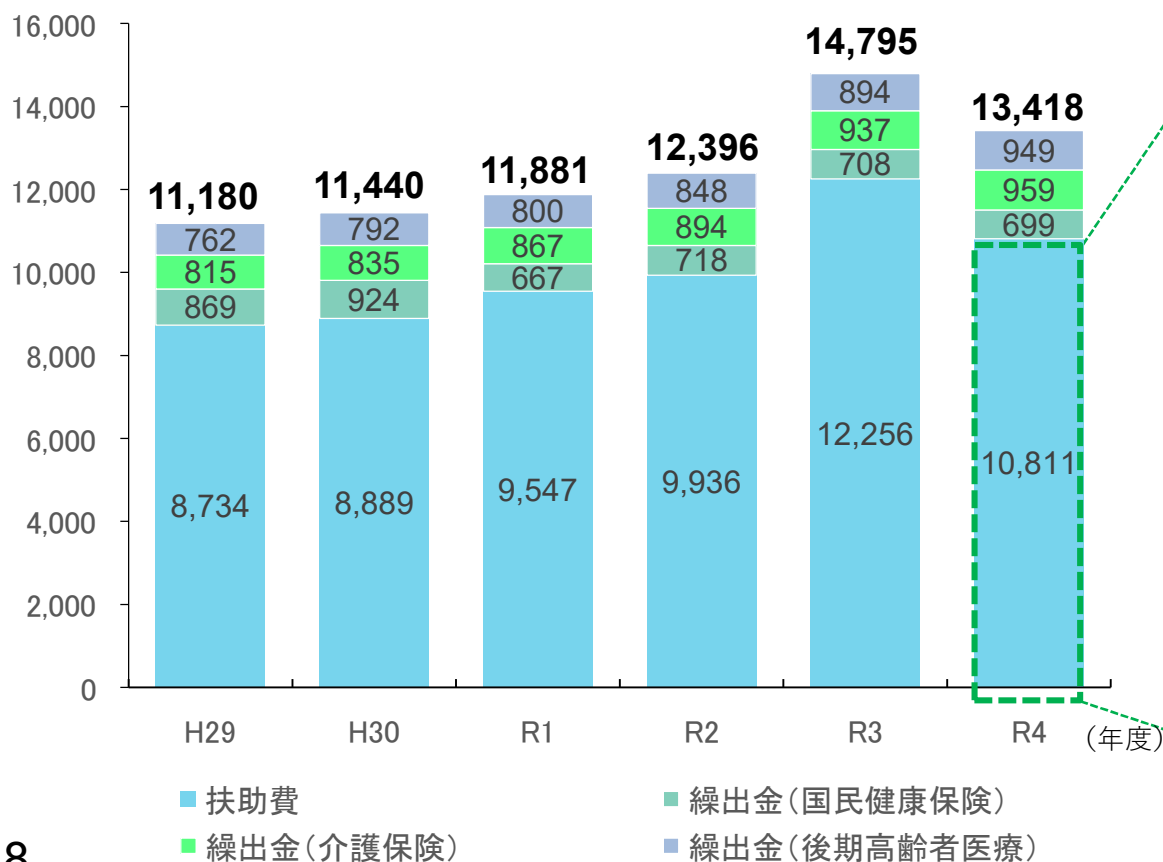


社会保障費の推移

- **扶助費**は、新型コロナウイルス感染症に係る子育て世帯及び住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金などの支給額の減により、減少となっています。
- **社会保障費全体**では、扶助費の減により、**前年度比約13億7千7百万円、9.3%の減**となりました。

社会保障費の推移

(単位：百万円)

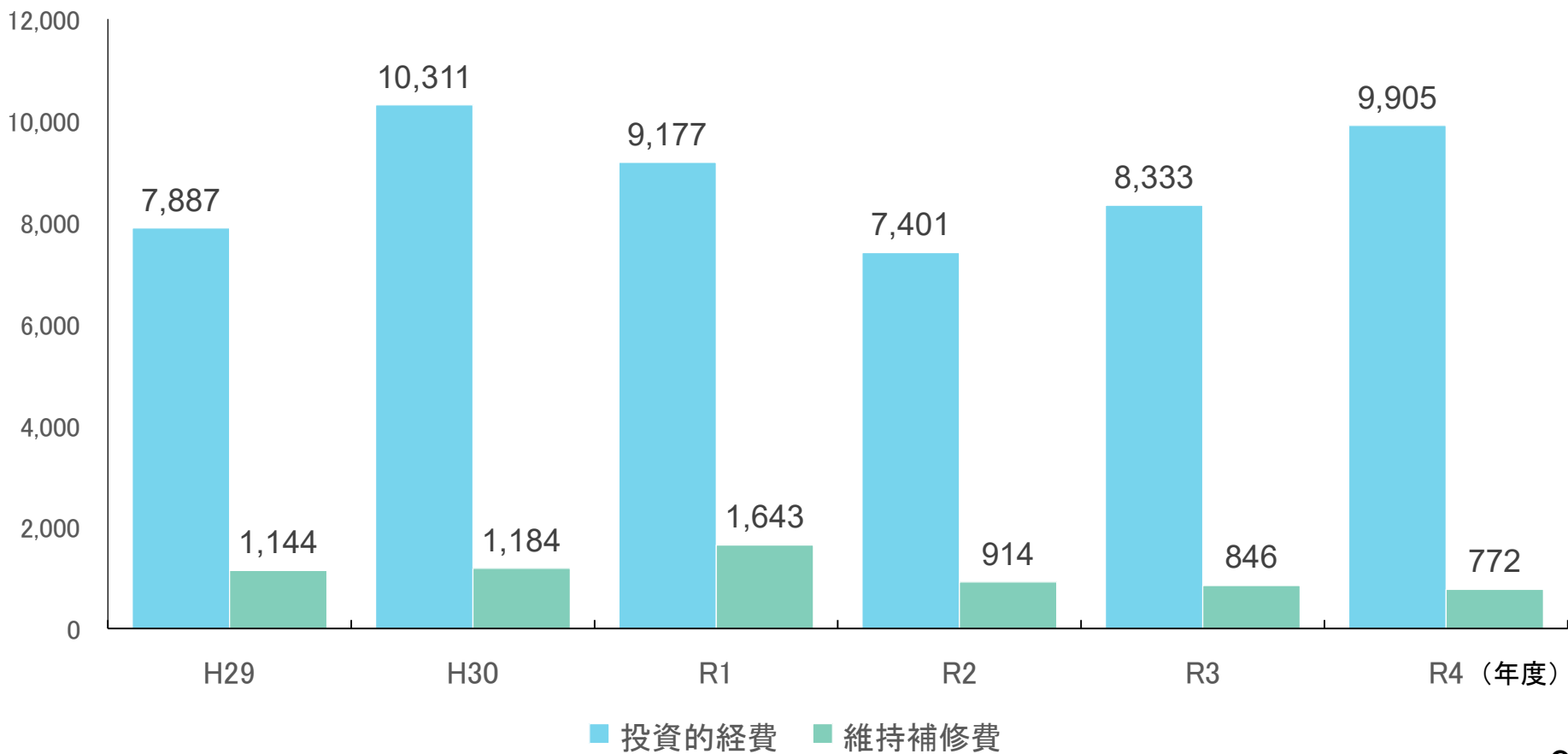


投資的経費・維持補修費の推移（上・下水道事業含む）

- **投資的経費**は、地域交流・保健福祉機能拠点整備事業や屋内温水プール建設工事などの増により、**前年度比約15億7千2百万円、18.9%の増**となりました。
- **維持補修費**は、水道事業会計における消火栓緊急修繕などの減により、**前年度比約7千4百万円、8.7%の減**となりました。

投資的経費・維持補修費の推移

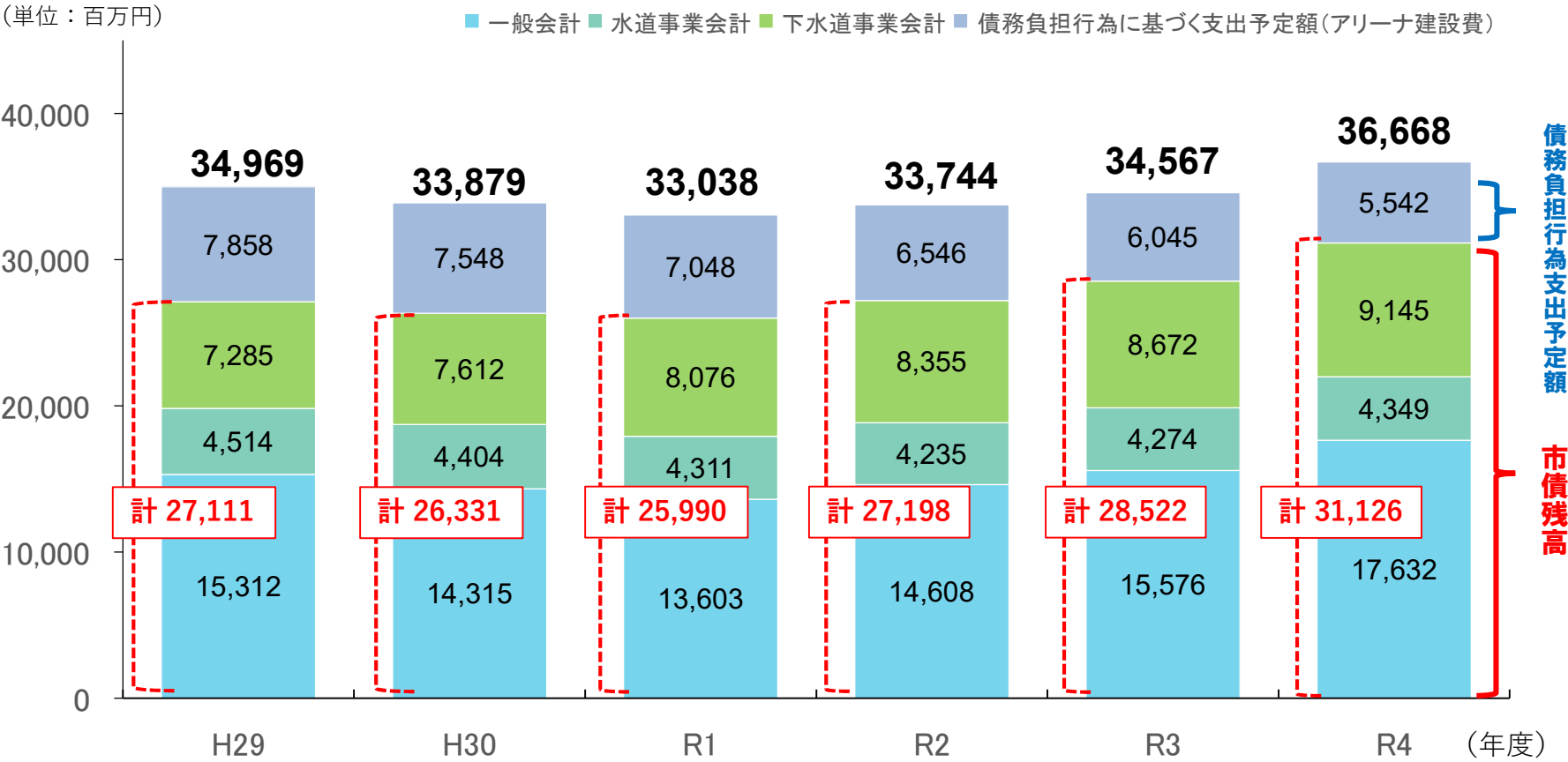
（単位：百万円）



将来負担額の推移

■ **将来負担額**は、将来の財政需要や災害に備えて適正規模の基金残高を確保するため、適債事業に市債を積極的に活用したことにより、一般会計における市債の発行額が増加し、**前年度比約21億1百万円の増**となりました。

将来負担額の推移



※このグラフの将来負担額は、各会計の市債残高及び債務負担行為に基づく支出予定額（アリーナ建設費）の合計としています。

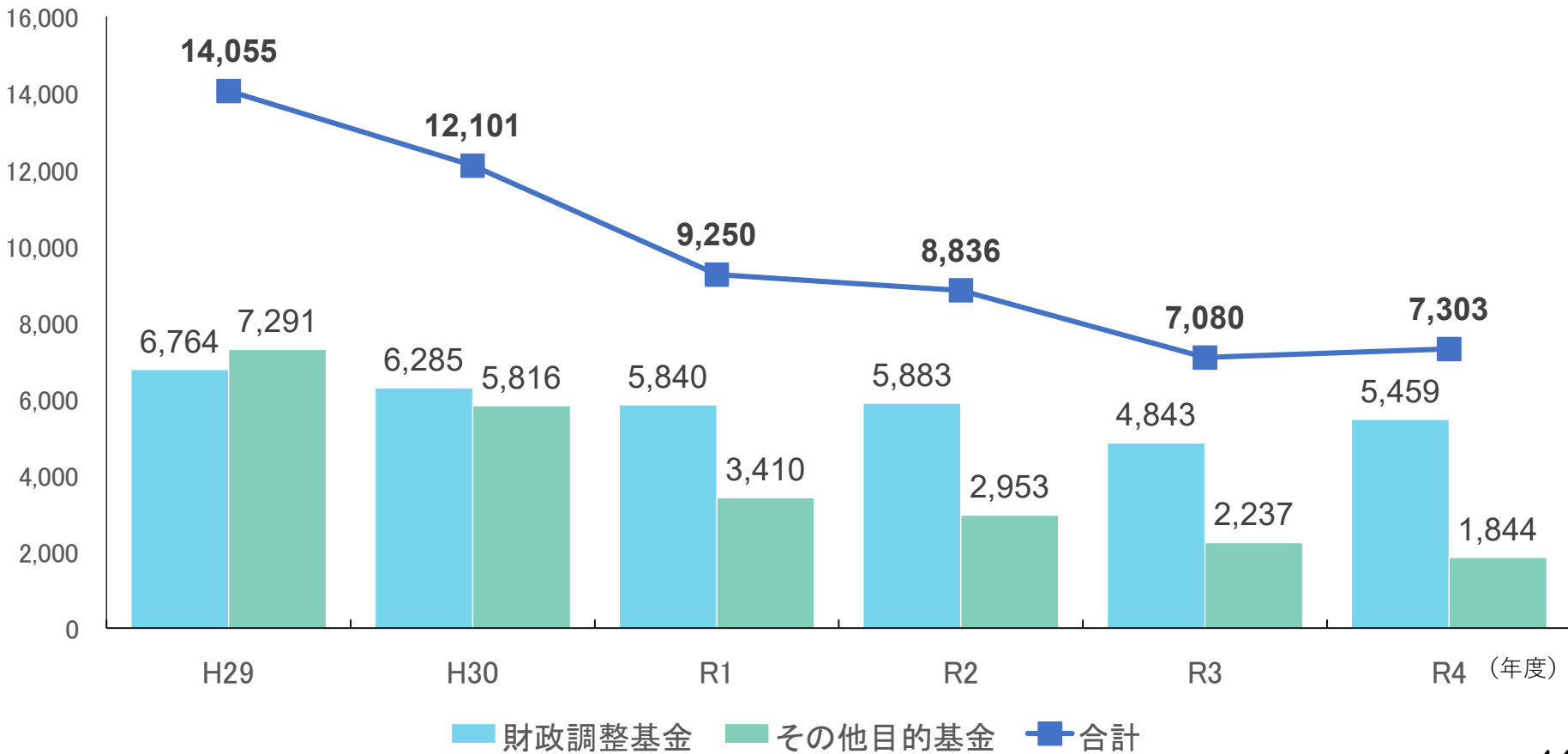
※赤字の金額は、各会計の市債残高の合計です。

基金残高の推移 (一般会計)

- 新型コロナウイルス感染症の影響による令和3年度事業の中止などにより生じた繰越金の増加に伴い、財政調整基金の積立金額が増加し、基金残高は、**前年度比約2億2千3百万円、3.1%の増**となり、**令和4年度末残高は、約73億3百万円**となりました。

積立基金残高の推移

(単位：百万円)



主要財政指標の状況 ①

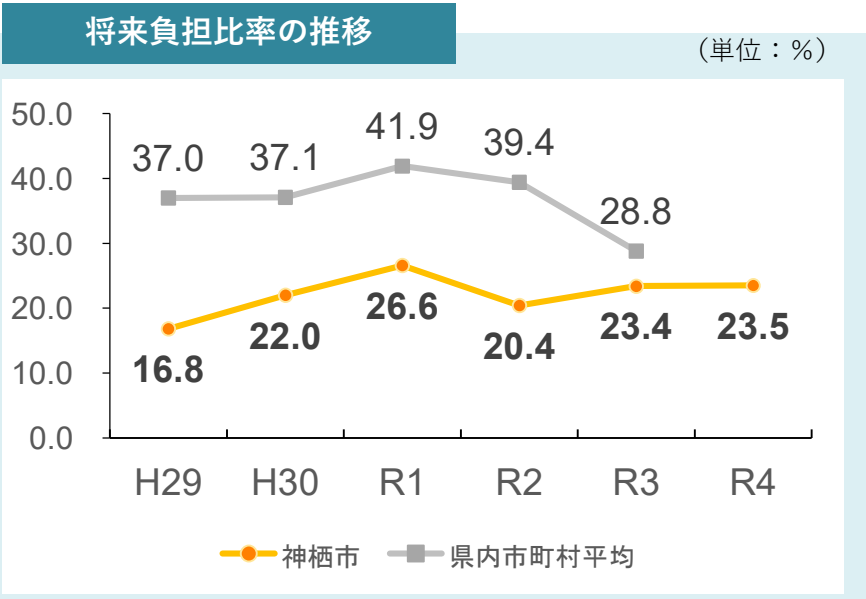
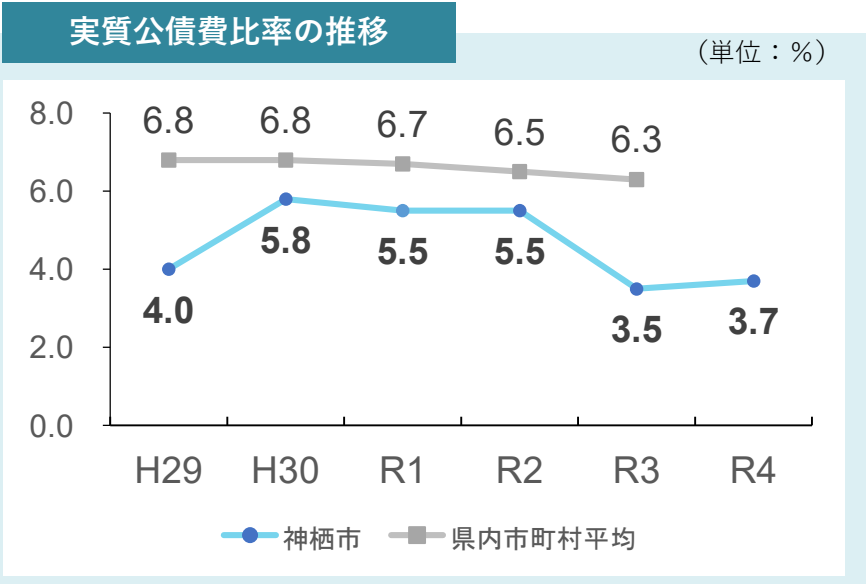
健全化判断比率・資金不足比率

(単位：%)

指 標	神栖市	県内平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (赤字なし)	赤字団体なし	11.89	20.0
連結実質赤字比率	— (赤字なし)	赤字団体なし	16.89	30.0
実質公債費比率 (3ヵ年平均)	3.7	6.3	25.0	35.0
将来負担比率	23.5	28.8	350.0	
公営企業における 資金不足比率	— (資金不足なし)	該当団体なし	経営健全化基準 20.0	

※健全化判断比率とは、4つの財政指標（実質赤字比率，連結実質赤字比率，実質公債費比率及び将来負担比率）の総称です。

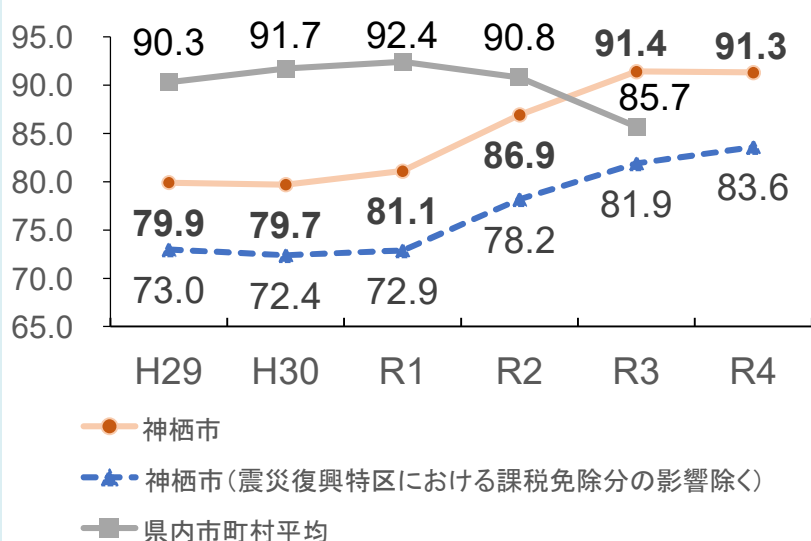
※県内平均は、令和3年度決算における県内市町村の平均値です。



主要財政指標の状況 ②

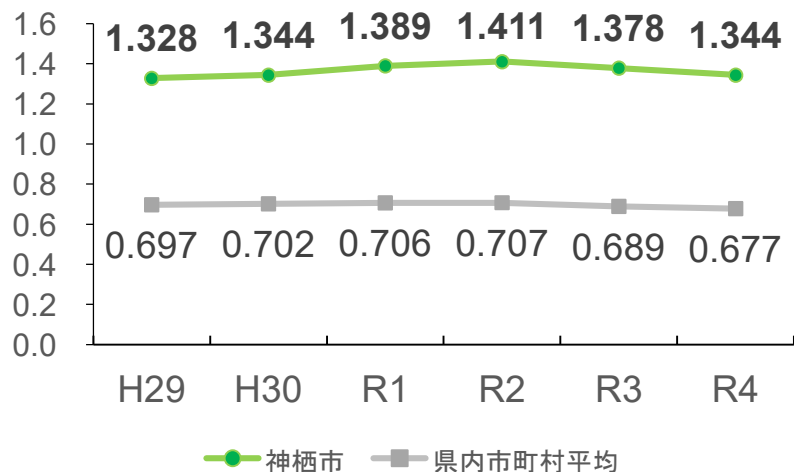
経常収支比率の推移（速報値）

（単位：％）



※速報値のため、今後変更する可能性があります。

財政力指数（3ヵ年平均）の推移



財政指標の説明

※実質公債費比率とは

1年間の収入に対する借金返済の負担割合を示すものです。
（一般家庭に置き換えると、1年間の収入額を100とした場合、その年の借金（例えば住宅ローンなど）の返済額がどれだけを占めているかを示すものといえます。）

※将来負担比率とは

将来にわたって返済すべき市債残高等から返済に充てる基金現在高を差し引いた額が、1年間の収入に対してどれだけを占めているかの割合を示すものです。
（一般家庭に置き換えると、1年間の収入額を100とした場合、今後返済する借金（住宅ローンなど）の返済額から、返済に充てる貯金額を差し引いた額がどれだけになるかを示すものと言えます。）

※経常収支比率とは

財政構造の弾力性を表す指標で、地方税など用途が特定されていない毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費や公債費など毎年度経常的に支出される経費に充てられたものが占める割合です。
（家庭の家計に例えると、毎月の給料に対して、食費やローンの返済など、毎月決まって支払わなければならない経費の割合を表したものです。）

※財政力指数とは

地方公共団体の財政力を示す指数で、財政力指数が高いほど財源に余裕があるとされています。

新型コロナウイルス感染症対策および物価高騰対策などの概要

令和4年度決算：約 **19億43百万円**（一般会計）

※事業費ベースの合計

※令和5年度へ繰り越した事業の事業費は含まれていない

1 事業者支援

約 **3億30百万円**

- ・地域振興券発行事業補助金
- ・公共交通事業者支援金
- ・中小企業事業資金利子補給費補助金
- ・貸切バス事業者支援金
- ・スポーツ観光支援（スポーツ合宿等を行う団体の宿泊料やバス代の補助）
- ・スポーツ観光施設維持管理支援金
- ・農業用出荷資材等価格高騰対策緊急支援事業費補助金 など

2 市民生活支援

約 **10億97百万円**

- ・価格高騰緊急支援給付金支給事業
- ・小・中学校の給食費無償化
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金（繰越）
- ・低所得ひとり親世帯生活支援特別給付金
- ・低所得ひとり親世帯以外生活支援特別給付金
- ・茨城県低所得子育て世帯生活応援特別給付金（ひとり親世帯・ひとり親世帯以外）
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金
- ・新型コロナウイルス感染者葬祭費助成金
- ・かみす学生応援便，生活困窮者への食料支援 など

3 その他

約 **5億16百万円**

- ・新型コロナウイルスワクチン接種
- ・民間保育所等感染症予防衛生品補助金 など



かみす家の家計簿

～神栖市の財政を1か月の家計に例えてみました～



- 市の財政状況を身近に感じていただくため、一般会計の令和4年度決算を、1か月の家計に例えています。
- 収入の中では、給料などの「自主財源」が大きな割合を占めていることがわかります。
- 支出の中では、食費や医療費などの「義務的経費」が、大きな割合を占めていることがわかります。

家計に例えると
わかりやすいね

収入

自主財源	給料	市税、その他収入	419 千円
	貯金の取り崩し	繰入金	36 千円
親からの仕送り			258 千円
各種ローンの借入金			57 千円

収入合計

770 千円

支出

義務的経費	食費	人件費	90 千円
	医療費	扶助費	161 千円
	ローンの返済	公債費	27 千円
光熱水費や通信費			143 千円
家・車の修理や買い替え			112 千円
家族や友人への援助			141 千円
友人への貸付や貯金			45 千円

支出合計

719 千円

※上記の算出に用いている数値は、令和5年3月末現在の住民基本台帳世帯数：43,611世帯